

第74回岩手県高等学校総合体育大会レスリング競技における 新型コロナウイルス感染防止に関する対応について

岩手県高体連レスリング専門部

1 大会開催における基本的な対応

- (1) (公財)日本スポーツ協会及び(公財)日本レスリング協会が示す感染拡大予防ガイドラインに沿って行う。
- (2) 大会参加は、生徒本人と保護者の同意を得ることとし、参加を強制しない。
- (3) 岩手県高等学校体育連盟からの指導により、施設内の密を避けるため保護者を含め無観客とする。

2 参加者(役員・選手・監督等)の対応

- (1) 選手は参加に際しては、保護者が同意の上、出場同意書を提出すること。
- (2) 参加者は大会前2週間及び大会当日の健康状態をチェックシート1・2に記載し、大会事務局へ提出すること。なお、参加者は以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)。
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (3) 競技大会参加前日(会場入り前)までに陽性者や濃厚接触者等が確認された場合の大会参加可否については、所属校の判断・対応とする。
- (4) 大会当日、体調不良や発熱が疑われる者が出た場合は、その該当者と学校関係者を接触させないよう隔離し、該当者を速やかに医療機関で受診させる。その際、診察結果が判明するまでは該当者を除く学校関係者は、体調管理をしながら参加できる。しかし、該当者がPCR検査を受検することになった場合は、その学校関係者は大会出場を取りやめ、自宅待機をし、保健所の指示を待つ。
※陰性の場合、競技大会に出場できるが、既に予定していた試合(競技)が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。
- (5) 大会期間中、学校関係者内に接触者の可能性がある者や濃厚接触者が出た場合、その学校関係者は大会出場を取りやめ、保健所の指示を受ける。
※PCR検査を受検した学校関係者全員が陰性の場合、競技大会に出場できるが、既に予定していた試合(競技)が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。
- (6) 参加者はマスクを持参し、運動時以外には着用すること。
- (7) 会場内・宿泊施設でのこまめな手洗い・手指消毒、うがいを実施すること。
- (8) 控え室を含め、会場内では他者との距離を十分に確保すること。
- (9) ゴミは各自で持ち帰ること。
- (10) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

3 大会運営における対応

(1) 競技会に特化した事項

- ア ウォーミングアップ時における人数制限や時間帯を設定する。
- イ 競技前のメディカルチェック・計量は、選手の身体的空間を配慮して実施する。
- ウ 競技開始直前の競技者、セコンド、審判等の手・指・靴裏のアルコール消毒を試合毎に行う。
- エ 競技中は、セコンドはマスク、審判はフェイスシールド等を着用し、競技者で行う握手は避け、一礼にて行う。
- オ 会場内の換気及びマット消毒は、学校対抗では試合毎に、個人対抗では10試合毎に行う。
- カ セコンド以外は大きな声で応援・アドバイス等はしない。
- ク タオル、飲料水の共用はしない。

(2) 大会事務局が準備等すべき事項

- ア 手洗い場所、洗面所（トイレ）、会場入り口での手指消毒剤の用意。
- イ 会場使用箇所の消毒剤の用意。

(3) 感染拡大の兆候が見られる場合及び各機関からの活動自粛要請があった場合は中止とする。

(4) 競技大会開催前に新型コロナウイルス感染の影響により、多数辞退する学校がある場合は、大会開催について専門部で検討し、判断する。